

時期	1年A巡	単元	実習	教科名	計測1 (計測器取扱)	
科目	測定	教科書等 持参品	3級/2級ガソリンエンジン自動車 基礎自動車整備作業		発行日	2023.4.1
総時限	16時限		日産4級整備テキスト エンジン編		教科担当	石井
必要時限	16時限		実習ノート			後藤

1. 指導教員の実務経験

該当

非該当

自動車の構造物、部品等を点検、調整する実務経験がある教員により計測技術について指導する。

2. 教科の目的 (この学科の狙い、目的を明確に記入)

- ①一般工具の取り扱い、習熟する。
- ②計測器の基本的な取り扱いと目盛りの読み方を理解する。
- ③計測器を使い部品の各部を測定し、良否判定が出来る。

3. 授業の到達目標 (何を理解し何が出来るようになるのか)

- ①各種計測器の取扱、保守が出来るようになる。
- ②正しく計測ができ、部品交換の判定が出来るようになる。

4. 学習評価 (期末試験での主な試験項目)

- 1) 履修試験での学習評価 実技75点、筆記試験25点にて総合評価する。  
整備科、SPM科 60点以上で合格、工学科 70点以上で合格。
- 2) 出題試験項目
  1. 実技試験
  2. 筆記試験
  - ①エンジン部品計測。
  - ①計測器の読み。

5. 準備学習

事前に次回の授業内容範囲を予習して、テキストを読んでおき、授業内容や質問事項等を学習する。  
実習ノートをもとに、各装置の名称、役割、目的を事前に調べてまとめておく。

